

[優 秀 賞] 永く生花を咲かせておける、ナチュラルフラワー



代表取締役社長
坂本 好央 氏

日本バイオ 株式会社

〒437-1301 静岡県掛川市横須賀803-4

TEL. 0537 (48) 0580

<http://naturalflowerkyoukai.jp/>

日本バイオは生花の自然な色を半年以上保つ技術「ナチュラルフラワー」を開発した。花の色素であるアントシアニンやポリフェノール、カロテンなどを残し、軽く握っても壊れにくい程度の柔軟性を維持できる。バラやランの一種の「デンファレ」など約20種類の花を加工できる。

長期間、花の色を保つ技術として一般的なプリザーブドフラワーは、花の水分を脱水して保存液に置き換える。しかし、脱水時にメタノールやエタノールを使うため、花や枝葉の色が抜ける。後から着色するが、花びらとガクなどが一色に染まってしまう問題があった。

ナチュラルフラワーは脱水工程で、花の色合いに合わせて水素イオン濃度 (pH) を調整したアルコールを使うため、色が抜けにくい。さらに食品添加物用のキレート剤を混ぜ、花の色素の安定化と固定化に成功した。

保存液もpHを調整した花の色素の発色を妨げない薬液を使っている。紫外線などで劣化はするが、半年から1年間程度は自然な色合いを保てる。

課題は花の種類や色合いによって発色や色を保持できる期間が異なること。例えば緑色は発色が難しいが、保存液にニガリを混ぜると発色しやすいことが分かった。今後も大学などと連携しながら、改善していく。

開発した技術は世界的にも例がなく、日本のほか、米国やカナダ、欧州連合 (EU)、中国などで国際特許を申請している。海外ではまず、北米での拡販を目指す。

